

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2020年12月18日

No.11

2021年3月ダイヤ改正の提案を受ける

中央本部は17日、2021年3月ダイヤ改正について提案を受けました。主な内容は以下の通りです。(詳細は別紙参照)

《2021年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ輸送

- ① オーダーメイド列車の策定
- ② 南福井駅E & Sホーム一部完成(2021年秋予定)に伴う輸送体系の変更
- ③ 組成方変更等による需要の取り込み
- ④ 経営資源の有効活用に向けたダイヤの見直し
- ⑤ 収益性の低い列車の見直し
- ⑥ 取扱量に合わせた営業体制の見直し
- ⑦ 曜日運休列車の拡大

2. 車扱輸送

- ① 需要に応じた石油列車輸送体系の見直し
- ② 旅客会社向けレール輸送の輸送体系効率化

3. 安全性向上及び安定輸送対策

4. 業務の効率化

5. 設備投資

- ① 機関車…合計18両 (EF210形式: 11両、DD200形式: 6両、HD300形式: 1両)
- ② フォークリフト…99台 (12ft用88台、20ft用3台、トップリフター8台)

6. 列車計画規模(一日あたり)

コンテナ177,000km (△1266,4km) + 車扱9,900km (△93,8km)
= 合計186,900km (△1360,2km)

7. ダイヤ改正日 2021年3月13日 JRグループ改正

提案を受けるにあたり中央本部は「ダイヤ改正はJR貨物にとって新商品の売り出しを行ない収入拡大・確保の施策であると認識している。新型コロナウイルスが猛威を振るう中で組合員は職場で頑張っており、ダイヤ改正場面では欠員が発生しないよう会社は責任を持って要員確保に取り組むこと。労使交渉は信義誠実の原則に則り議論していくこと。会社経営陣は職場の現実を認識し、効率化施策は安全を最優先として行なうこと。女性設備の改善は組合員の声を反映した内容とすること。施策の実施にあたっては地方議論を尊重すること。」を主張しました。

これに対し会社は「新型コロナウイルスの世界的感染により新しい生活様式が問われるようになり、eコマース需要に応じた積合わせ貨物の充実をはかっていく。収入拡大と共に引き続き要員問題に対して真摯に対応していく。会社の将来には女性社員の活躍は重要であり、組合の声を受け止めていく。荷主ニーズや人々の暮らし、自然環境に貢献できるよう、施策の実施にあたっては地方議論を尊重し進めていく。」との考え方を明らかにしました。

中央本部は今後申し入れを行ない、団体交渉で会社と議論していきます。あわせて各地方本部と連携をはかり問題点・課題の解決にむけて取り組みます。

以上